

子ども第三の居場所ちんじゅのもり拠点 2022年度実績報告書 (特非)創作クラブGrian

子どもの自立を目的とした体験を通じた学び

日常的に家庭の中での役割を持つことを想定したこどもキッチンでは夕食づくりを行うだけでなく、地域の方を講師とした畑づくりからの野菜栽培、食器の準備、配膳、片づけ、掃除まで一連の作業をこどもキッチンのプログラムにして取り組むようにした。



地域食堂とのつながりから広がる地域交流

こどもキッチンの取り組みへ寄付していただいたお米を地域のボランティアの方と炊き込みご飯へ。子どもたちが頂いた支援を地域の高齢世帯へ還元することもサンタ。クリスマスケーキの提供もあり、不在だった世帯へクリスマスケーキをお届けした。楽しい体験も知らない方から支えられていることへの気づきと感謝、地域還元を目的とした。



生活している地域から学ぶ 職業体験

地域のイベントを活かして住んでいるところで何がありどんな人が関わりながら創り上げているのかを職業を通して学ぶ
新聞記者から伝えることを学び（協力：愛媛新聞社）、トライアスロン大会前日に『こども記者』体験。

パラアスリートや全国からエントリーしてきた選手へのインタビューや会場のスケールの大きさに保護者も地域のことを改めて知る機会になった。



家庭でも学校でもできない体験をすることから子どもの伸びしろを育む

田植え 稲刈り くるしまライオンズクラブ提供
夜の遠足(福山城) 知らないアートの世界を知る



